

海外レポート ～中国・蘇州編～

配信日 2016/2/17

蘇州駐在員事務所 河田 和史

【はじめに】

はじめまして。池田泉州銀行、蘇州駐在員事務所の河田と申します。
蘇州に赴任し 1 年となりました。今回は、「当行と蘇州の絆」ならびに「蘇州の生活情報」についてレポート致します。

【当行と蘇州の絆】

蘇州市は古くから、絹織物、綿織物の生産が盛んであり、大阪・池田市とは機織の技法を通じて、千数百年前から交流があったと伝えられています。

1981 年（昭和 56 年）大阪府池田市と江蘇省蘇州市は友好都市提携を結び、以来、永年にわたり文化、教育の交流を深めてきました。

池田泉州銀行は、2006 年（平成 18 年）に、地方銀行として初めて蘇州に駐在員事務所を開設致しました。

開設以来、お客さまを中心とした視察団を何度となく蘇州にお連れし、工業団地や生活環境、蘇州市のサポート体制等、実際に蘇州の投資環境をご視察頂いております。また、蘇州市が日本で開催される投資説明会へのご協力だけでなく、蘇州市長が大阪に来られた際に、当行本店を視察頂くなど、緊密な交流を図っております。

経済面だけでなく、文化交流も多岐に渡っております。

2011 年には、蘇州市と池田市友好都市締結 30 周年記念に、蘇州で交流卓球大会を行い、また、大阪池田にて蘇州昆劇院公演を開催致しました。

2012 年には、日本を代表する 3 大学（神戸大学・京都大学・大阪大学）と中国を代表する 5 大学（復旦大学・上海交通大学・蘇州大学・同濟大学・浙江大學）の総長・学長が蘇州市に一堂に会し、「グローバル人材の育成」をテーマとする「国際シンポジウム」を開催致しました。

このように、関西と中国の架け橋として、既に進出されているお客さまへの支援、新たに進出されようとしているお客さまへの支援は勿論のこと、池田市、蘇州市の友好関係強化のお手伝いを通じて、地域への貢献、日中友好にも資するよう引き続き活動してまいります。



【蘇州の生活情報】

(蘇州市について)

蘇州市は中華人民共和国江蘇省東南部に位置し、GDPで中国第7位を誇る都市です。蘇州市には、7,901人の日本人駐在者がおり（2013年10月1日現在。出所：外務省「海外在留邦人数調査統計」2014年以降、都市別在留邦人数は公表されておられません）、この人数は、中国国内では上海・北京に次ぐものです。蘇州は治安もよく、日本人（外国人）が安心して生活できる住環境が整っています。蘇州市内には、シンガポールの協力で建設された工業園区をはじめ、複数の開発区があり投資環境は整備されています。一方、古くから絹織物で発展した由緒ある都市で、「古典園林」などの世界遺産や、世界無形文化遺産であり、中国伝統劇の一つ「昆劇」の発祥地として、今も歴史・文化の中心地でもあります。

(食事)

蘇州料理は日本人に親しみやすい甘めの味付けとなっています。また温暖湿潤な気候で四季もはっきりしていることから農作物も豊富で、旬の食材を利用した料理が味わえます。蘇州市には、イズミヤ、久光百貨店、イオン、マックスバリュートなどの日本食材を取扱う店も数多くあり、日本食材の入手が容易である他、日本料理店も数多く存在します。

(住宅)

日本人（外国人）の多く住むエリアは「高新区」、「工業園区」と大きく2つに分かれます。高新区は、日本人学校があるため、家族帯同の方々が多く住んでいます。両エリアとも日本料理店が集積するエリアがあるなど、日本人でも生活に困らない環境が整っています。外国人向け賃貸住宅は家具や家電、照明等がついていることがほとんどです。

(交通)

バスは蘇州市内を網の目のように走っており、本数も多く値段も定額運賃（1元～7元）でどこまでも乗れます。タクシーも日本より安価で利用できますし、2012年には地下鉄1号線が開通しました。現在は東西に結ぶ1号線、南北に結ぶ2号線が開通しています（現在5号線までの開発計画があります）。また、新幹線も通っており、上海まで約30分で行くことが出来、大変便利です。

(病院)

日本人医師、看護師が常駐するクリニックや日本語の通じるクリニックもあります。また、夜間救急外来に対応する病院だけでなく24時間日本語医療サービスサポートを提供する企業もあり、急な病にも対応でき安心です。

(教育)

小学部、中学部を有する蘇州日本人学校のほか、幼稚園部、小学部、中学部、高等部を有するイートン・インターナショナルスクール等の学校があります。



親切で新しい…

池田泉州銀行

